



A O 入試・推薦入試 出願理由書・小論文・面接のポイント

麻布大学 オープンキャンパス (2016/06/05) 早稲田ゼミナール 医進塾



麻布大学の「一般入試」についても知っておこう！

麻布大学 一般入試「個別試験」問題の難易度

難易度	英語	数学	生物	物理	化学
A					
B		■	■		
C	■	センター試験のレベル			■
D	●	●	●		●
E					

■ 獣医学部 ● 生命・環境科学部

↑ 難

- 全体的には「奇問」のないオーソドックスな問題。
- ただし、獣医学部の「数学」「生物」では、一部の問題で特色が見られる。
(「数学」では、「問題の作り方」に特色が見られる。「生物」は理解すべき分野が量的に多いため、受験生側が消化しきれない面がある。)



A O 入試・推薦入試対策

■ 「出願理由書」のポイント

★ 「出願理由書」が、合否の第1関門

【字の体裁について】(「手書き」であること理由)「出願理由書を、ぜひ読んでほしい」という思いを、書く文字からも表そう！

【字数について】 本当に「この大学の学科に入りたい」なら、書きたいことがいっぱいあるはず(と、大学の先生は考える)。「なるべく制限字数めいっぱい」に書こう！

【内容について】

〈項目〉 * 以下の項目が出願理由書に記す主な事項。以下の全てを必ずしも書く必要はない。

- ①将来就きたい職種を目指すことになった動機・きっかけ
- ②自分がなりたい将来像
- ③その職種に関して、現在問題になっていること・社会的課題になっていること
- ④「麻布大学」を志望する理由
- ⑤（麻布大学に入学できたら）入学後、特に学びたいこと
- ⑥自分の人柄・経験・実績でアピールしたいこと

〈書き方のポイント〉

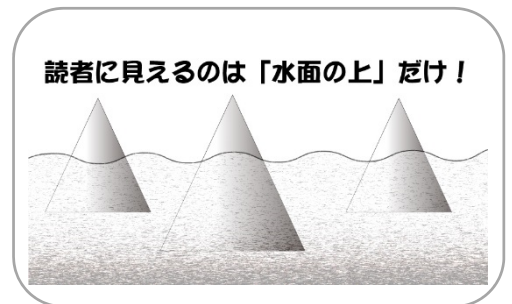
★評価される「出願理由書」とは、まずは「読む側の立場に立って書かれたもの」

(1)伝えたいことを書き手はわかっているが、それを過不足無く読む側にわかるように、丁寧に説明すること。

(例)

文化祭実行委員会の委員長になったことで、コミュニケーションの力をつけることができた。

↑「どんな活動・経験によって」コミュニケーション能力が向上したのか？



(2)「出願理由書」は、増やすのではなく縮めて書くものである。

(悪い例)

飼い主に信頼される獣医になることが私の目標であり、これを実現するために麻布大学を志望した。(45字)

↓

ペットを飼っている飼い主さんたちにとっても信頼される獣医になることこそが、絶対に必ずなし遂げたいと強く思っている私の大きな目標であり、その目標を現実のものにするために私は麻布大学への入学を希望している。(100字)



★出願理由書で必要になるのは、「文章力」よりも「人間としての自分の魅力」「将来への夢」「大学への熱意」を、はっきり「具体的に示す」こと。

○「活動実績」よりも「活動経験で自分が学んだこと得られたこと」のほうが大切。それを「大学で学びたいこと」「将来への夢」に結びつけられたらベスト。

★「ネガティブな経験」は、「マイナスの経験」ではない。そこから何を学んだか・それを今後どう活かすかが大切！

○各学科を卒業して将来就く「仕事の中身」を知ることが、「出願理由書」の中の「本学科を志望する動機となった背景」を書く上で参考になる。

- その仕事を、社会的意義（「どういう点で世の中に役立つのか」ということ）の面から考える。
- 面接で最も聞かれるのが「出願理由書」の内容。「このことを書いたら、面接で何を聞かれるか」も想定して記す。

■「小論文」のポイント

★基本的な文章作成力は必要だが、

- ①「出題の意図」をどれだけ正確につかめるか、
 - ②出題のテーマに関わる「知識」を踏まえて、
 - ③妥当な見解(個性的である必要はまったくない)を示せるか
- がはるかに大切！

■獣医学部

「獣」「医」「学」に関して、最近話題になっていることについての知識や考えを深めておこう！

○「獣」＝動物

(**テーマ**：人と動物との共生、動物実験、外来生物、生物多様性、環境保護・環境保全、食物連鎖、畜産業の現状、人獣共通感染症、温暖化・気候変動と動物との関わり、過保護による健康被害ナド)

○「医」＝医療

(**テーマ**：医療事故とその予防策、予防医学、生命倫理、遺伝子治療・遺伝子工学、再生医療、インフォームドコンセント、アニマル・セラピー、薬漬け医療、パンデミック、最先端医療、救命救急医療、トリアージ、医療の質と医療費ナド)

○「学」＝学問・研究

(**テーマ**：「勉強」と「学問」との違い、基礎研究と応用研究・臨床との関係、学問の体系化、他分野の研究との関わり、「学問の進展」の意味、専門家・学者の社会的責任、専門家・学者の説明責任ナド)

◇過去問題(1) 獣医学部獣医学科◇

問 次の文を読んで、「開拓者魂と膨大な費用」について、あなたの考えを書きなさい。

(800字以内)

ヒマラヤの未踏峰だったマナスル(8163メートル)には日本人が世界で初めて登頂した。8千メートル峰をめざす計画は、戦後まもなく今西錦司氏ら京大グループが着手した。目標を決めるのに若手が資料を集めた。

マナスルは資料がなかった。写真もなく、山の形さえわからない。だが今西はマナスル

を選ぶ。若手らが「この山は何もわからへんのに。あきませんよ」と驚くと、こう言ったそうだ。「わからへんから、やるんや」。

伝説ともいえる逸話は、登山に限らず「開拓者魂」というものをよく表していよう。とはいえ未知の領域を手探りで進む難路は並ではない。金星軌道に入り損なった探査機「あかつき」も、その困難に跳ね返されたといえる。成功の荣誉と失敗のリスクは、当然ながら正比例する。

かけた費用は250億円。巨額を無駄にしたのか、せめて将来への糧にできるのかは、今後の宇宙航空研究開発機構しだいとなろう。国の台所がきしむ時代、この手の予算は微妙な世論の背中に乗っている。

■生命・環境科学部

志望学科に関わる、近年問題になっていることや将来就く仕事についての知識や考えを深めておこう！

○臨床検査技術学科

(**テーマ**：「健康」とは何か、「診断」と「治療」との関わり、医療事故、チーム医療、セカンド・オピニオン、出生前診断、高齢社会と医療、「命」の尊厳ナド)

○食品生命科学科

(**テーマ**：世界の人口増加と食糧問題、先進国と発展途上国との食糧問題、食の安全性、病院食、健康食品(特定保健用食品・栄養機能食品)、和食、高齢社会と食との関わり、生活習慣病と食ナド)

○環境科学科

(**テーマ**：環境保全と経済発展、温暖化と環境破壊、温室効果ガス、都市の環境問題、地産地消、環境問題における南北問題ナド)

◇過去問題(2) 生命・環境科学部 臨床検査技術学科◇

問 近年、臨床検査技師に求められている資質についてあなたの考えを述べなさい。また、その資質を養うためにあなたはどのような努力をしているのかを述べなさい。
(800字以内)

◇過去問題(3) 生命・環境科学部 環境科学科◇

問 最近、問題になった環境汚染の実例を挙げ、なぜ、そのような汚染が起こったのか、また、生態系や人にどのような影響を与えたのか(あるいは与える可能性があるか)を述べなさい。(800字以内)

■「面接」のポイント

★細かいマナーを過度に気にしない。「何を尋ねられたか」「それについて、何を言ったらいいか」こそが大切！

★事前に答えることを「丸暗記」するのは好ましくない。予想される質問について答えることは、「そのポイント」だけはしっかり銘記しておくこと！

★まずは、自分が書いた「出願理由書」について、質問が予想されることは何かを考える。

★志望する学科の内容(どんな講座があるのか・どんな研究室があるのか・何を専門にしている先生がいらっしゃるのか)について、きちんと理解すること。「出願理由書」の内容と志望学科とはきちんとマッチしている？



お問い合わせ

TEL : 03-3205-4308

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 1-24-13
(「高田馬場駅」(ビッグボックス側)徒歩3分)

TEL : 03-3205-4308(医進塾直通)
03-3205-1621(代表)

FAX : 03-3205-1944

E-mail: ikei@wasedazemi.ac.jp